



地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

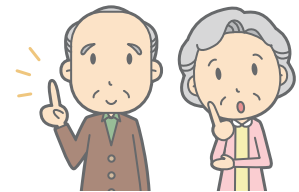
仕事と介護を両立するためのポイント～家族の心構え～

介護は誰もが直面する可能性があり、「介護への事前の備え」はとても重要です。「老後の生き方」や「介護が必要になった場合の暮らし方」について、どのような考えを持っているのかは、家族が知っておきたい情報です。

そこで、子供から親に確認しておくことの一部をご紹介します。

【親の老後の生き方の希望について】

- ◆ 介護が必要になった場合、誰とどのように暮らしたいのか
- ◆ 子供に介護してもらうことへの抵抗感の有無
- ◆ 在宅介護サービスを利用するのか ◆ 介護施設に入居するのか
- ◆ 最期はどこで暮らしたいと思っているのか ◆ 延命治療を希望しているのか



【親の生活環境や経済状況について】

- ◆ 親の1日、1週間の生活パターン
- ◆ 高齢になって、生活上困っていること不便に感じている場所(玄関の段差等)
- ◆ 親の経済状況 ◆ 親の財産 ◆ 大切な書類
- ◆ 親の趣味や楽しみ ◆ 親の好きな食べ物 ◆ 近所の友人や地域仲間の名前・連絡先
- ◆ 地域の民生委員や配達員など、家族や友人以外での親の安否を確認できる人の有無・連絡先

親が元気なうちには、「親に介護が必要になったらどうするのか」といった話題は親子間で切り出しにくいものです。そこで、まずは親が介護保険の保険証が届く65歳を迎えたとき、あるいは家族が介護保険料を納付し始める40歳を迎えた時などに、将来のこと、介護のことについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

《厚生労働省ホームページ：仕事と介護の両立支援より》

南越前町地域おこし協力隊活動 NEWS

●旧玉村邸活用プロジェクト

<プレオープンイベント>

日時 1月26日(土) 午前10時～午後5時

場所 旧玉村家(南越前町今庄82-10)

*プレオープンイベントでは和風雑貨などの販売やトークショーなどを開催します。みなさん、ぜひお越しください。

*正式オープン(宿屋としての営業開始)は2月下旬を予定しております。

●地域実地体験企画「Local-Practice23 田舎の仕事人シリーズ～褐色に輝く、つるし柿～」開催

町外に向けて地域資源を活かした魅力あるコンテンツを提供し、来訪に繋げるきっかけの一つとして、今庄つるし柿づくり体験を開催しました。11月3日から12月7日の期間で、延べ60名の方が参加され、柿の収穫、皮むき、燻した柿の揉みほぐしなど、今庄つるし柿の生産過程を体験していただきました。

参加者からは「今庄のつるし柿を作る全ての工程を体験できたことは大変貴重な体験でした」「燻されたつるし柿を初めて食べたが美味しかった。自分の周りにも紹介したい」との感想があり、満足された様子でした。

<各企画の詳細はこちら>

旧玉村邸活用プロジェクト(地域まるっと体感宿 玉村屋) <https://tamamuraya.jp/>
 フェイスブックページ <https://www.facebook.com/tamamuraya/>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

